



BNP パリバグループ 2011 年度第 3 四半期決算報告書

プレスリリース
2011 年 11 月 3 日

2011 年第 3 四半期：ギリシャ国債に対する追加減損にもかかわらず純利益を計上

	2011 年度第 3 四半期	前年同期比
営業収益	100 億 3200 万ユーロ	-7.6%
株主帰属純利益	5 億 4100 万ユーロ	-71.6%
ギリシャ国債向け引当金を除く	19 億 5200 万ユーロ	+2.4%

ギリシャ国債向け追加引当の影響（全エクスポージャーの 60%まで増加）

- リスク費用：-21 億 4100 万ユーロ
- 持分法による連結：-1 億 1600 万ユーロ（保険会社における少数株主持分）

顧客のプロジェクトへの積極的な資金供給に専念

国内市場での融資と預金のさらなる成長：フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク

預金残高: +6.0%; 融資残高: +6.3%

2011 年度 9 ヶ月間累計：極めて困難な環境下における優れた回復力

	2011 年度 9 ヶ月間累計	前年同期比
営業収益	326 億 9800 万ユーロ	-2.6%
株主帰属純利益	52 億 8500 万ユーロ	-16.0%
ギリシャ国債向け引当金を除く	70 億 3400 万ユーロ	+11.8%

高いソルベンシー

	2011 年 9 月 30 日	2010 年 12 月 31 日
TIER 1 比率	11.9%	11.4%
エクイティ TIER 1 比率	9.6%	9.2%
CRD3 に基づく見積りエクイティ TIER 1 比率（バーゼル 2.5）	9.0%	

経済サイクル全体にわたる価値創出力

2011 年 9 月 30 日時点の 1 株当たり純資産	57.4 ユーロ	前年同期比	+5.8%
2011 年度 9 ヶ月累計の年率換算株主資本利益率	10.2 %	前年同期比	-3.0 ポイント

2011年11月2日にBNPパリバ取締役会が開催され、ミシェル・ペブロー会長が議長を務める中、当グループの2011年度第3四半期の業績が検討されました。

(ギリシャ向け全エクスポージャーの) 60%までギリシャ国債の減損を増加させても、株主帰属純利益を計上

いくつかのユーロ圏諸国におけるソブリン債務危機の一層の悪化、株式市場の急落、経済成長予想の悪化という環境の中で、2011年度第3四半期の業績は種々の例外的事項、特にギリシャの債務再編計画によって重大な影響を受けました。

7月21日の合意の履行に関わらず、10月27日にはEU当局は新しいギリシャ支援パッケージを策定しました。実行はまだ不確実であるものの、BNPパリバは、当計画の結果として、保有している全てのギリシャ国債の60%について引当金を計上しました。それは、バンキング勘定で20億9400万ユーロおよび保険のポートフォリオで4700万ユーロの追加引当となります。なお、関連会社におけるギリシャ国債の追加減損計上は、-1億1600万ユーロというネガティブな調整となりました。

グループ全体の営業収益は100億3200万ユーロとなり、前年同期比で7.6%減となりました。リテール・バンキング事業(2.2%増。国内のプライベート・バンキングの100%について連結範囲変更及び為替レート変動の影響を除き、かつPEL/CELの影響を除く)および資産運用および証券管理事業は増益(2.5%増)となりましたが、コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業は、極めて困難な市場環境および国債売却損(3億6200万ユーロの損失)のために39.8%減となりました。コーポレート・センターの営業収益は、長期資産および負債の市場価格での評価に関連する2つの例外的事項(自社負債の再評価益7億8600万ユーロとAXAへの株式投資に対する2億9900万ユーロの追加減損)によって影響を受けました。

コーポレートバンキング・投資銀行事業のコスト削減対応力も手伝って、営業費用は61億800万ユーロとなり、前年同期比7.7%減となりました。多くのヨーロッパ諸国で導入された銀行課税の影響を除くと、8.3%減となります。

営業総利益は前年同期比で7.4%減となりました。

ギリシャ国債に対する追加引当が行われたこともあり、リスク費用は30億1000万ユーロとなりました。

当該影響を除いても、リスク費用は、全ての事業ユニットでの下落傾向(28.9%減)が継続して8億6900万ユーロとなり、前年同期の72ベースポイントと比較して融資残高の50ベースポイントとなりました。

当グループは、5億4100万ユーロの株主帰属純利益を報告しました(前年同期比71.6%減)。ギリシャ国債への引当を除いた純利益は、前年同期比2.4%増の19億5200万ユーロとなりました。

2011年度9ヵ月間累計で、グループ全体の営業収益は326億9800万ユーロとなり、前年同期比で2.6%減にとどまりました。銀行課税の影響にもかかわらず、コーポレートバンキング・投資銀行事業のコスト削減対応力もあり、営業費用は1.0%の漸減となりました(銀行課税の影響を除くと1.7%減)。営業総利益は4.8%減の132億6000万ユーロとなり、株主帰属純利益は16.0%減の52億8500万ユーロとなりました。ギリシャ支援計画に関連して計上した引当金の影響を除くと、リスク費用は当期28.5%減少し、株主帰属純利益は前年同期比11.8%増の総計70億3400万ユーロとなりました。

普通株式 1 株当たり純利益は前年同期の 5.1 ユーロと比べて、4.2 ユーロとなりました。年率換算株主資本利益率は 3 ポイント減の 10.2%となりました。1 株当たり純資産は前年同月末比 5.8%増の 57.4 ユーロとなりました。

BNP パリバ・フォルティスおよび BGL BNP パリバの統合作業は、現在も継続しています。2011 年度 9 ヶ月間累計で、4 億 1400 万ユーロのシナジー効果が計上され、2009 年以降のシナジー効果の合計が 10 億 1200 万ユーロとなっており、統合計画が前倒しで進んでいます。

リテール・バンキング事業

リテール・バンキング事業の各業務部門において税引前利益が二桁の増益となり、当グループのフランチャイズの強みを確認することとなりました。

フランス国内リテール・バンキング事業 (FRB)

顧客の資金調達ニーズを支援するフランス国内のネットワークの貢献により、融資残高は前年同期比 6.1%増の 86 億ユーロに増加しました。中・小規模企業をターゲットとしたキャンペーン（キャンペーンのスローガンは、「あなたの事業計画と資金調達方法について相談しましょう」）の顕著な成功で、法人向け融資の残高が 5.3%増加したと同時に、住宅ローンへの持続的需要（7.2%増）の恩恵を受けて、消費者向け融資の残高が 6.7%増となりました。預金の増加ペースは融資の増加ペースを上回り、前年同期比 7.7%増の 82 億ユーロとなりました。この成長に加え、当座預金の 7.3%の増加および普通預金の 12.2%の増加が寄与するという好ましい構造的効果も伴っています。

営業収益⁽¹⁾は、前年同期比 1.6%増の 17 億 3000 万ユーロとなりました。純利息収入は、取引量の増大により 2.6%増加すると同時に、家計の貯蓄に対する強い忌避感の影響を受けて、手数料収入が 0.3%増加しました。

収益の増加は、営業費用の増加抑制（1.0%増）も伴い、フランス国内リテール・バンキングの営業総利益を 2.9%増加させました。

リスク費用は、消費者向け融資残高の 19 ベーシスポイントと極めて低く、前年同期比で 12 ベーシスポイント減となりました。

フランス国内プライベート・バンキング事業の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業に配分した後の税引前利益は、PEL/CEL の影響を除いて、前年同期比で 12.8%増の総計 4 億 6600 万ユーロとなりました。

2011 年度 9 ヶ月間累計で、営業収益⁽¹⁾は 2.2%増加し、営業費用は 1.2%増加（銀行課税を除くと 0.9%増）と抑制されたことから、営業総利益は前年同期比で 4.1%増となりました。営業収益対コスト比率⁽¹⁾は 64.0%となり、期中で 0.6 ポイント改善しました。この好調な業績には、リスク費用の 32.4%の減少も寄与しており、フランス国内プライベート・バンキング事業の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業に配分した後の FRB の当期の税引前利益が 12.5%増という結果になりました。

¹ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

困難な経済環境下で、BNL bcは、事業展開の追求と顧客の預金および資金調達に対するニーズの支援を継続してきました。イタリア国内市場動向に従い、融資残高は前年同期比5.7%増の39億ユーロとなりました。法人向け融資はファクタリング業務の力強い成長が原動力となり、個人向け融資は消費者向け融資によって底上げされました。預金残高が2.0%の漸減となったのは、BNL bcがイタリアで直面している厳しい利率競争の影響によるものです。保険業務における順調な資産流入は、BNL bcの期中のマーケットシェアの2ポイント⁽²⁾上昇に寄与しました。

営業収益⁽³⁾は、法人および個人顧客の双方で、当グループの他のビジネスユニット（資金管理、リース、資産運用）とのクロスセリングが順調に増加したことにより、前年同期比2.0%増の総計7億8000万ユーロとなりました。

6支店の新設により、前年同期比で営業費用が1.4%増、営業総利益が2.8%増となりました。

リスク費用は顧客融資残高の97ベースポイントとなり、前年同期比で11ベースポイントの減少となりましたが、本年第2四半期比では安定したものとなっております。

イタリア国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後の税引前利益は、前年同期比で18.4%増加し、1億3500万ユーロとなりました。

2011年度9ヵ月間累計で、取引量の増加と好調な業務に牽引された営業収益⁽³⁾の増加（2.9%増）は、営業費用の抑制⁽³⁾（2.0%増；銀行課税を除くと1.2%増）が加わることによって、営業総利益の4.0%増加、営業収益対コスト比率が前年同期比で0.5ポイント改善の57.2%との結果となりました。この業績に期中のリスク費用の3.6%の減少が加わり、イタリア国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後の税引前利益が、前年同期比17.6%増の4億ユーロとなりました。

BeLux リテール・バンキング

顧客の資金調達に対するニーズを支援するネットワークの貢献により、個人融資が7.3%増加し、法人融資が3.4%増加したことで、融資残高は前年同期比5.9%増の50億ユーロに増加しました。預金は当座預金への順調な資産流入（8.5%増）によって、6.8%増の65億ユーロに増加しました。

営業収益⁽⁴⁾は、取引量の増加に支えられて、全体で前年同期比5.5%増の8億8600万ユーロとなりました。

既に完了した営業チーム強化の効果も含めて、営業費用⁽⁴⁾は、前年同期比4.5%の漸増となりました。BeLux リテール・バンキングの営業総利益は⁽⁴⁾、期中に7.8%増加しました。

リスク費用は、18ベースポイントと極めて低く、前年同期の約半分となりました。

ベルギー国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後のBeLuxリテール・バンキングの税引前利益は、前年同期比27.9%増の2億2900万ユーロとなりました。

²出典：ANIA（イタリア保険業協会）のパネル資料

³イタリア国内プライベート・バンキングの100%含む

⁴ベルギー国内プライベート・バンキングの100%含む

2011年度9ヵ月間累計で、取引量の増加により営業収益⁽⁴⁾が4.4%増加し、営業費用が3.3%増加となったことから、BeLuxリテール・バンキングの営業総利益は6.8%増加し、営業収益対コスト比率は0.7ポイント改善し69.4%となりました。この好調な業績とリスク費用の急減（前年同期比20.4%減）によって、ベルギー国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後の税引前利益は、前年同期比13.8%増の6億5000万ユーロとなりました。

欧州・地中海沿岸諸国

当期は欧州・地中海沿岸諸国におけるネットワークに含める対象範囲の調整が行われ、マダガスカルにおけるネットワークを処分するとともに、コートジボワールの政治情勢の安定化を受けてネットワークの再統合を行いました。事業展開はほぼ全ての国で継続されていることが、取引量の活発な増加によって示されています。融資残高はウクライナにおける残高が継続的に減少（17.4%減）しているにもかかわらず、特にトルコで増加したことにより、10.5%の増加となりました。すべての国で預金への資産流入があり（13.4%増）、特にトルコでは急激な増加（28.5%増）となりました。

欧州・地中海沿岸諸国の営業収益は、前年同期比2.9%増⁽⁵⁾の3億8800万ユーロとなりました。営業費用が前年同期比で5.4%⁽⁵⁾増加しましたが、過去1年でトルコとモロッコに26支店を開設するなど拡大を継続したことによるものです。

当ビジネスユニットのリスク費用が前年同期は150ベースポイントであったのに対し81ベースポイントへと減少したことは、マダガスカルネットワーク処分によるキャピタル・ゲイン（2500万ユーロ増）も加わって、当ビジネスユニットにおける税引前利益の増益基調に寄与しており、前年同期の800万ユーロに対して4800万ユーロとなりました。

2011年度9ヵ月間累計で、営業収益が1.9%増加⁽⁵⁾し、営業費用は4.9%増加⁽⁵⁾しました。リスク費用の減少⁽⁵⁾（14.9%減）とマダガスカルネットワーク処分によるキャピタル・ゲインにより、税引前利益が前年同期比15.2%増の9100万ユーロとなりました。

バンクウェスト

米国における困難な経済環境が継続する中で、バンクウェストの業務は堅固なものでした。融資残高⁽⁵⁾は前年同期比で0.8%減でしたが、前四半期比で0.3%増となりました。商業用不動産市場の縮小は法人融資の回復⁽⁵⁾により相殺しきれなかったものの、個人顧客に対する消費者融資の増加は、住宅ローン需要の長引く減少を相殺しました。預金⁽⁵⁾増加のペースは回復（11.9%増）し、とりわけコア預金は12.1%増となりました。

バンクウェストは前年同期比0.6%増の5億4900万ユーロの営業収益⁽⁵⁾を記録しました。事業展開は法人および中・小規模企業分野で特に継続されており、また米国の新しい規制環境に起因する費用のため、営業費用⁽⁵⁾が前年同期比で2.6%増加しました。

リスク費用は、前年同期の107ベースポイントに対して71ベースポイントと継続的に低下しており、それにより、税引前利益は前年同期比23.0%⁽⁵⁾増の1億8800万ユーロとなりました。

⁵連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外

2011年度9ヵ月間累計で、営業収益⁽⁵⁾は1.6%増加し、営業費用⁽⁵⁾は低水準であった前年同期に比べ銀行課税の影響により5.4%上昇となりました。銀行課税を除くと、営業費用の増加は4.6%⁽⁵⁾に留まります。リスク費用⁽⁵⁾の急減（45.5%減）もあり、当期の税引前利益は37.4%増の5億3200万ユーロとなりました。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、事業に再度集中するための戦略を積極的に展開してきました。国外における当グループのネットワークを有するパーソナル・ファイナンス企業の統合を含むパーソナル・ファイナンス内部組織体制が既に完成し、一方では将来のバーセル 3 規制へと特化した住宅ローンへの適応措置が徐々に実行されています。

このような環境下において、パーソナル・ファイナンスの消費者融資の増加は、パーソナル・ファイナンス独自の組織を持った、特にイタリア、ドイツ、中央ヨーロッパだけでなく、パーソナル・ファイナンスがグループのネットワークを利用している、ポーランド、ウクライナ、中国においても依然活発でありました。全体として、パーソナル・ファイナンスの連結融資残高は前年同期比で 5.0%増加しました。

しかしながら、特にフランスやイタリアでの新たな規制や、流動性費用の増加により、営業収益が前年同期比で 0.7%微減の 12 億 3800 万ユーロになりました。

事業展開におけるさらなる投資として、業務効率の一層の改善のための BPCE とのパートナーシップに関するものがあり、営業費用が前年同期比で 3.6%増となりました。営業総利益は、6 億 5800 万ユーロとなり、4.2%の漸減となりました。

前期のトレンドを引き継いで、リスク費用は融資残高の 172 ベーシスポイントとなり、前年同期比で 47 ベーシスポイントの低下となりました。

このように、税引前利益は前年同期比 23.7%増の 2 億 9800 万ユーロとなり、パーソナル・ファイナンスの強固な利益総出力を裏付けすることとなりました。

2011 年度 9 ヶ月間累計で、営業収益の順調な増加（前年同期比 2.3%増）は、事業展開のための投資と銀行課税の影響で営業費用が 3.6%増加（銀行課税を除くと 3.2%増）したにもかかわらず、パーソナル・ファイナンスの営業総利益の 1.2%増加に寄与しました。リスク費用の 16.8%の減少により、当期税引前利益は 44.2%増と急増し、8 億 9400 万ユーロとなりました。

エクイップメント・ソリューション

中古車価格の反発及び好調なリース事業に伴い、エクイップメント・ソリューションは前年同期比 5.7%増加の 3 億 9000 万ユーロの営業収益を計上しました。営業費用の 6.6%の増加にもかかわらず、営業総利益は期中に 4.7%増加しました。リスク費用の急激な減少（38.3%減）により、税引前利益は大幅に増加し 1 億 4600 万ユーロとなりました(36.4%増)。

2011 年度 9 ヶ月間累計で、営業費用の増加（6.9%増）及びリスク費用の減少（57.9%減）と共に営業収益の増加（8.5%増）が、ビジネスユニットの税引前利益を 5 億 1000 万ユーロまで押し上げ、2010 年度 9 ヶ月間累計に比べ 65%増と顕著な伸びを示しました。

資産運用および証券管理事業

2011年9月30日現在、運用資産残高は、前年同月末比で4.1%減、前年12月末比で5.5%減の8510億ユーロとなりました。これは、株式市場における急激な下落がポートフォリオの価値を減少させたことと、投資家の強いリスク回避志向に関連して、2011年度9ヵ月間において資産流出の影響が拡大（79億ユーロ減）したことによります。特に国内市場とアジアにおいて、プライベート・バンキング（86億ユーロ）や保険（36億ユーロ）での順調な資産流入および、主にドイツでの個人投資家による資産流入（19億ユーロ）がありましたが、インベストメント・パートナーズからの資産流出（225億ユーロ減）の一部を相殺するにとどまりました。

貯蓄市場に不利な状況にもかかわらず、分散された事業ミックスに支えられた当部門の営業収益は前年同期比で2.5%増の15億5100万ユーロとなりました。運用資産の減少にもかかわらず、国内市場のプライベート・バンキングの良好な成績にみられるように、富裕層向けの資産運用業務部門の営業収益は2.5%の減少に止まり、個人投資家と不動産サービスが資産運用における営業収益の減少を一部相殺しました（10.8%減）。

保険部門からの営業収益は特にフランス以外（日本、イギリス、ドイツ）における保障保険商品の良好な成績が寄与しています（5.8%増）。

証券管理業務部門では、取引量に連動し、期中において、営業収益が強く回復しました（12.4%増）。

事業展開を支援するための継続的な投資を受けて、例えば保険部門と証券管理業務部門では、営業費用が前年同期比で、4.3%増となりました。フォルティス統合計画のシナジー効果により、資産運用において1.9%減にとどまり、ビジネスユニット組織および資源を新しい環境へ適応させる計画は現在検討中となっています。

繰返しになりますが、今期、保険部門からの営業利益はギリシャ国債に対する引当金の影響を受け関連会社の貢献が1億1600万ユーロ減となるまで重荷となっております。

このように、国内市場の国内プライベート・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後、当部門は、税引前利益2億6600万ユーロを計上し、前年同期比で46.4%減となりました。ギリシャ国債の減損の影響を除けば、13.5%減にとどまったこととなります。

このような極めて困難な状況にもかかわらず、2011年度9ヵ月間累計で、資産運用および証券管理事業において7.1%増加した47億7900億ユーロの営業収益は、営業費用の増加（6.0%増）とあわせても、前年同期比9.6%増となった営業総利益の増加に寄与しました。保険部門におけるギリシャ国債の減損の影響で、期中において税引前利益は13億6100万ユーロと5.2%減少しました。この影響を除けば、9.2%の増加となりました。

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業

急落した株式市場に示されたように、非常に困窮した市場の状況に対し、多くのヨーロッパ諸国におけるソブリン債務問題、限られた流動性、また、極めて高いボラティリティへの懸念は高まり、コーポレートバンキング・投資銀行事業の営業収益は前年同期比で39.8%減の17億4600万ユーロと急減しました。これらの営業収益は、コーポレート・センターに計上された（次頁参照）自己債務再評価からの利益の恩恵は受けられず、トレジャリー・バンキング勘定で計上されたソブリン債売却からの3億6200万ユーロの損失を含んでいます。

フィクスト・インカム部門の営業収益は、トレジャリー・バンキング勘定に計上されたソブリン債売却の損失を除き、前年同期比で 8 億 500 万ユーロと 33.4%減少しました。今期は、多くのヨーロッパ諸国におけるソブリン債危機によりクレジット及び金利関連業務が強い影響を受けた一方で、フロー商品における顧客の活動は維持されています。

一方、当部門は、低調な取引量となっているヨーロッパの債券市場において、突出した役割を担い、カバードボンド発行において世界的に主導的地位にあると認識されました⁽⁶⁾。

株式およびアドバイザー業務部門の営業収益は、44%減の 2 億 9200 万ユーロとなりました。株式市場の急落やそれに伴う家計のリスク回避に加え、高ボラティリティ市場におけるヘッジ調整コストは増加しました。顧客の行動は、企業のエクイティ・デリバティブに対する需要に集中しました。

ファイナンス業務部門の営業収益は、10 億 1100 万ユーロとなり、前年同期比で 13.6%減となりました。この収縮は主に融資残高の減少に起因するものです（2010 年第 3 四半期首と 2011 年第 3 四半期首の間で 12.7%減）。資金管理業務は、特にアジアにおいて、継続的に発展しました。

資本市場業務におけるコスト削減対応力により、営業費用は前年同期比で 28.1%減の 11 億 2000 万ユーロとなりました。

リスク費用は、前年同期比で 7900 万ユーロ減の 1000 万ユーロと大幅に減少しました。ファイナンス業務部門において戻入もあり、引当が限定されていたため戻入による相殺以下でした。

コーポレートバンキング・投資銀行事業の税引前利益は 6 億 4100 万ユーロとなり、前年同期比で 49.8%の減少でした。ソブリン債の売却損を除けば、21.5%のみの下落となります。

2011 年度 9 ヶ月間累計で、コーポレートバンキング・投資銀行事業の営業収益は 80 億 8600 万ユーロになり、前年同期比で 14.1%下落しました。ソブリン債の売却損を除けば、わずか 10.2%の下落となります。資本市場業務のコスト削減対応力とフォルティス統合プランのシナジー効果により、営業費用は 7.5%減少しました（銀行税の影響を除くと 9.0%減）。このように、営業収益対コスト比率は、期中 4 ポイント上昇したのにもかかわらず、56.4%と業界でも最高の水準を維持しました。コスト削減対応力はリスク費用の急減とともに、期中 16%減の 36 億 400 万ユーロの税引前利益に寄与しました。

この活発な業績は、平均 VaR の下落に見られるような市場リスクの減少およびファイナンス業務部門における融資残高の減少がある中で達成できたものです。このように、当部門に配分されたエクイティは 10.0%減となりました。

コーポレート・センター

コーポレート・センターからの営業収益は前年同期の 6 億 1700 万ユーロに比べ、8 億 7000 万ユーロとなりました。当グループ発行債券の帳簿価格の評価の変動（7 億 8600 万ユーロと前年同期比で 1 億 1000 億ユーロの減少）及びアクサへの株式投資の減損（2 億 9900 万ユーロ減）を反映しています。フォルティスの売却および早期償還の結果として、一度限りの購入価格償却（前年同期比 3 億 1600 万ユーロ増）、および、フォルティスのバンキング勘定上の公正価値調整による定期的な償却 1 億 5400 万ユーロを含んでおります（前年同期は 1 億 6700 万ユーロ）。

⁶出典：トムソン ロイター(2011 年 9 月)

増加した事業再構築費用（1億7600万ユーロ）と例外的な8900万ユーロの費用の影響を受け、営業費用は、昨年同期の4億5200万ユーロに比べ、1億1800万ユーロの事業再構築費用を含み、2億7900万ユーロとなりました。

リスク費用は、21億300万ユーロとなり、主にギリシャ国債の追加減損によるものとなっています（20億9400万ユーロ）。

コーポレート・センターは、税引前損失となり、前年同期の1億6000万ユーロの利益に比べ、14億7200万ユーロを計上しております。

2011年度9ヵ月間累計で、営業収益は、前年同期の21億8900万ユーロに比べ、20億800万ユーロとなりました。

営業費用は、前年同期の10億5800万ユーロに比べ、事業再構築費用の影響（前年同期4億9900万ユーロに比べて、3億9000万ユーロ）により、8億6100万ユーロとなりました。リスク費用は、ギリシャ国債の引当（26億1000100万ユーロ）の影響を受け、前年同期400万ユーロに比べ、2011年度9ヵ月間累計で25億6000万ユーロとなりました。

コーポレートセンターの税引前利益は、前年同期の12億2500万ユーロに比べ、13億500万ユーロ（損失）になりました。

*
* *

レバレッジ削減（デレバレッジング）

現在作成中のEU指令の主題となっている、バーゼル委員会のレバレッジ比率、流動性及びソルベンシーのガイドラインに準拠するために、当グループは、ドルベースのものを優先事項として、バランスシートの縮小計画に着手しています。

その目標は、2013年1月1日に全面的に有効となるバーゼル3に準拠して計算されたTier1比率9%を2012年末までに達成するためにエクイティTier1比率を100ベースポイント強化することとしています。同時に、グループの米ドル資金需要の600億ドル削減を計画しており、すでに今年上半期に220億ドル超の削減を達成しました。

これに関連して、当期中にコーポレートバンキング・投資銀行事業のドル資金需要は既に200億ドル削減されており、この大部分は資本市場業務における削減によるものであり、18ヵ月間にわたるプログラムの3分の1を達成したこととなります。削減計画が予定より早いペースで進行しているため、2011年第4四半期中にさらに200億ドルの削減を含む新たなスケジュールを策定しました。この先行計画により、グループにとって、来年度に200億ドルの削減のみで2012年の目標達成が可能となる余裕が生まれることとなります。

ドル部分だけでなく、計画の80%は既に進行中です。これらの措置により、エクイティTier1比率に80ベースポイントの改善効果がもたらされます（内38ベースポイントはコーポレートバンキング・投資銀行事業、36ベースポイントはコーポレート・センター、リテール・バンキング事業は6ベースポイントのみ）。これは、リスク加重資産の約630億ユーロ削減に等しくなります（コーポレートバンキング・投資銀行事業300億ユーロ減、コーポレート・センター280億ユーロ減、リテール・バンキング事業は50億ユーロ減のみ）。

当グループとしては、新規制や市場状況を考慮に入れ、問題となっている融資残高全てが更新されれば、これらの措置は営業総利益に対し（年間）7億5000万ユーロの反復的な効果をもたらすと考えております。また、これらの措置により推計4億ユーロの事業再構築費用、8億ユーロの売却損、すなわち、計12億ユーロの経常外の影響が発生することになります。

ソルベンシー

欧州銀行監督機構（EBA）は、2012年6月末を期限とする9.0%のTier1比率目標を設定し、これには2011年末より施行されるEU資本要求指令（CRD3）の制度下で、2011年9月30日現在の残高と市場価格に基き、バーゼル3に備え欧州経済領域（EEA）のソブリン債時価評価に関する調整項目（ブルデンシャル・フィルター）を排除することが含まれています。バーゼル3では、すべての債券ポートフォリオの時価評価を一般慣行とされることが予想されます。

このような背景において、当グループは市場価格のボラティリティに対するソルベンシー比率の感応度を低下させるため、ソブリン債のエクスポージャーを削減するプロセスに着手しました。ソブリン債の継続的売却は10月には4億5000万ユーロの損失になりました。

2011年9月30日現在、普通株式Tier1比率は2011年6月30日と変わらず9.6%となり、事業成長による利益創出（15ベースポイント増）はギリシャ国債の追加減損（15ベースポイント減）の影響により相殺されました。期中のリスク加重資産は5940億ユーロと、安定推移しました。

CRD3に基づく見積り（プロフォルマ）エクイティTier1比率は9.0%であり、ヨーロッパ諸国のソブリン債の未実現損失は40ベースポイント減相当の比率となっています。2012年6月30日までに、Tier1比率を100ベースポイント強化するため、バランスシート縮小目標の50%、比率では50ベースポイント増加を達成させなければなりません。これら全ての効果により、事業成長による利益創出を含める前に、2012年6月30日までに比率が9%超となります。従って当グループは資本市場からの資本調達を行うことなく、EBAにより設定された目標を達成することが可能となる予定です。

流動性およびファイナンス

当グループのキャッシュ・バランスシートは、2011年9月30日現在、クレピエールおよび保険業務部門を除き、デリバティブ、レポ取引および債権と債務を相殺した後、1兆180億ユーロとなっております。エクイティ、顧客預金と中長期調達の合計で7860億ユーロに達しており、顧客の融資需要（7630億ユーロ）を上回っております。

2320億ユーロの短期調達は、流動性準備金および短期資産のみで賄われております。当グループの即時利用可能な流動性準備金は、2011年9月30日時点で1700億ユーロ（560億ドルを含む）となっております。

当グループの2011年度中長期債発行プログラムは7月までに完全に達成しました。以降、BNPパリバは私募債発行を継続して実施し、グループのネットワークでの募集も定期的を実施しております。これに関連して、過去3ヵ月で80億ユーロを、スワップ金利に対する平均89ベースポイントのスプレッド、平均償還期限5.3年で調達しました。その他に、当グループの2012年度の中長期資金調達計画では、進行中のバランスシートの縮小により、200億ユーロのみの調達が計画されています。



* *

これらの結果について、最高経営責任者であるボードゥアン・プロは、次のように述べております。

「当期の純利益は、ギリシャ国債の新たな再編計画の悪影響を受けましたが、その影響を除けば、前期の業績に相応する水準となっています。この極めて困難な四半期において、BNPパリバは利益を創出し、高水準のソルベンシー比率を維持し続けました。

ドル資金調達需要を縮小する計画と当グループの資金調達能力が、今夏に通貨および資本市場で起こった危機の影響を最低限に止めることに寄与しました。リテール・バンキング業務においては、好調な事業と業績が再確認されました。

保有ギリシャ国債の60%に対する引当金計上、ソブリン債のエクスポージャーの縮小、また、ドルの資金需要の削減により、BNPパリバは新たな環境における課題に対して対応できる態勢を整えています。」

*
* *

連結損益計算書

(単位：百万ユーロ)	3Q11	3Q10	3Q11 / 3Q10	2Q11	3Q11/ 2Q11	9M11	9M10	9M11 / 9M10
営業収益	10,032	10,856	-7.6%	10,981	-8.6%	32,698	33,560	-2.6%
営業費用および減価償却費	-6,108	-6,620	-7.7%	-6,602	-7.5%	-19,438	-19,630	-1.0%
営業総利益	3,924	4,236	-7.4%	4,379	-10.4%	13,260	13,930	-4.8%
リスク費用	-3,010	-1,222	n.s.	-1,350	n.s.	-5,279	-3,640	+45.0%
営業利益	914	3,014	-69.7%	3,029	-69.8%	7,981	10,290	-22.4%
関連会社損益	-20	85	n.s.	42	n.s.	117	179	-34.6%
その他営業外項目	54	52	+3.8%	197	-72.6%	227	198	+14.6%
営業外損益	34	137	-75.2%	239	-85.8%	344	377	-8.8%
税引前利益	948	3,151	-69.9%	3,268	-71.0%	8,325	10,667	-22.0%
法人税	-240	-951	-74.8%	-956	-74.9%	-2,371	-3,387	-30.0%
少数株主帰属純利益	-167	-295	-43.4%	-184	-9.2%	-669	-987	-32.2%
株主帰属純利益	541	1,905	-71.6%	2,128	-74.6%	5,285	6,293	-16.0%
営業収益対コスト比率	60.9%	61.0%	-0.1 pt	60.1%	+0.8 pt	59.4%	58.5%	+0.9 pt

BNPパリバの2011年度第3四半期の財務開示物は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。

2011 年度第 3 四半期のコア事業の業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	5,865	1,551	1,746	9,162	870	10,032
対前年同期比	+0.7%	+2.5%	-39.8%	-10.5%	+41.0%	-7.6%
対前四半期比	-1.4%	-4.4%	-39.3%	-12.3%	+62.9%	-8.6%
営業費用および減価償却費	-3,590	-1,119	-1,120	-5,829	-279	-6,108
対前年同期比	+1.5%	+4.3%	-28.1%	-5.5%	-38.3%	-7.7%
対前四半期比	+0.8%	+0.4%	-30.6%	-7.3%	-10.9%	-7.5%
営業総利益	2,275	432	626	3,333	591	3,924
対前年同期比	-0.6%	-1.8%	-53.4%	-18.1%	n.s.	-7.4%
対前四半期比	-4.6%	-15.1%	-50.5%	-19.8%	n.s.	-10.4%
リスク費用	-844	-53	-10	-907	-2,103	-3,010
対前年同期比	-24.4%	n.s.	-87.3%	-23.0%	n.s.	n.s.
対前四半期比	-2.9%	n.s.	n.s.	+4.9%	n.s.	n.s.
営業利益	1,431	379	616	2,426	-1,512	914
対前年同期比	+22.2%	-17.2%	-51.3%	-16.1%	n.s.	-69.7%
対前四半期比	-5.5%	-22.7%	-52.2%	-26.3%	n.s.	-69.8%
関連会社損益	51	-111	14	-46	26	-20
その他の営業外項目	31	-2	11	40	14	54
税引前利益	1,513	266	641	2,420	-1,472	948
対前年同期比	+24.3%	-46.4%	-49.8%	-19.1%	n.s.	-69.9%
対前四半期比	-2.4%	-51.5%	-51.7%	-29.4%	n.s.	-71.0%

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	5,865	1,551	1,746	9,162	870	10,032
前年同期	5,825	1,513	2,901	10,239	617	10,856
前四半期	5,946	1,623	2,878	10,447	534	10,981
営業費用および減価償却費	-3,590	-1,119	-1,120	-5,829	-279	-6,108
前年同期	-3,537	-1,073	-1,558	-6,168	-452	-6,620
前四半期	-3,562	-1,114	-1,613	-6,289	-313	-6,602
営業総利益	2,275	432	626	3,333	591	3,924
前年同期	2,288	440	1,343	4,071	165	4,236
前四半期	2,384	509	1,265	4,158	221	4,379
リスク費用	-844	-53	-10	-907	-2,103	-3,010
前年同期	-1,117	18	-79	-1,178	-44	-1,222
前四半期	-869	-19	23	-865	-485	-1,350
営業利益	1,431	379	616	2,426	-1,512	914
前年同期	1,171	458	1,264	2,893	121	3,014
前四半期	1,515	490	1,288	3,293	-264	3,029
関連会社損益	51	-111	14	-46	26	-20
前年同期	36	8	17	61	24	85
前四半期	29	-8	13	34	8	42
その他の営業外項目	31	-2	11	40	14	54
前年同期	10	30	-3	37	15	52
前四半期	6	67	27	100	97	197
税引前利益	1,513	266	641	2,420	-1,472	948
前年同期	1,217	496	1,278	2,991	160	3,151
前四半期	1,550	549	1,328	3,427	-159	3,268
法人税						-240
少数株主帰属純利益						-167
株主帰属純利益						541



2011 年度 9 カ月間累計のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
営業収益	17,825	4,779	8,086	30,690	2,008	32,698
対前年同期比	+1.9%	+7.1%	-14.1%	-2.2%	-8.3%	-2.6%
営業費用および減価償却費	-10,674	-3,346	-4,557	-18,577	-861	-19,438
対前年同期比	+1.8%	+6.0%	-7.5%	+0.0%	-18.6%	-1.0%
営業総利益	7,151	1,433	3,529	12,113	1,147	13,260
対前年同期比	+2.0%	+9.6%	-21.3%	-5.4%	+1.4%	-4.8%
リスク費用	-2,649	-67	-3	-2,719	-2,560	-5,279
対前年同期比	-22.1%	n.s.	-98.8%	-25.2%	n.s.	+45.0%
営業利益	4,502	1,366	3,526	9,394	-1,413	7,981
対前年同期比	+24.7%	+2.7%	-16.5%	+2.5%	n.s.	-22.4%
関連会社損益	128	-84	37	81	36	117
その他の営業外項目	35	79	41	155	72	227
税引前利益	4,665	1,361	3,604	9,630	-1,305	8,325
対前年同期比	+25.5%	-5.2%	-16.0%	+2.0%	n.s.	-22.0%
法人税						-2,371
少数株主帰属純利益						-669
株主帰属純利益						5,285
年率換算株主資本純利益率						10.2%



四半期決算

(単位：百万ユーロ)

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
グループ事業							
営業収益	11,530	11,174	10,856	10,320	11,685	10,981	10,032
営業費用および減価償却費	-6,596	-6,414	-6,620	-6,887	-6,728	-6,602	-6,108
営業総利益	4,934	4,760	4,236	3,433	4,957	4,379	3,924
リスク費用	-1,337	-1,081	-1,222	-1,162	-919	-1,350	-3,010
営業利益	3,597	3,679	3,014	2,271	4,038	3,029	914
関連会社損益	68	26	85	89	95	42	-20
その他の営業外項目	175	-29	52	-7	-24	197	54
税引前利益	3,840	3,676	3,151	2,353	4,109	3,268	948
法人税	-1,188	-1,248	-951	-469	-1,175	-956	-240
少数株主帰属純利益	-369	-323	-295	-334	-318	-184	-167
株主帰属純利益	2,283	2,105	1,905	1,550	2,616	2,128	541
営業収益対コスト比率	57.2%	57.4%	61.0%	66.7%	57.6%	60.1%	60.9%

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)							
営業収益	1,743	1,718	1,689	1,674	1,789	1,773	1,733
うち受取利息純額	1,015	1,006	986	971	1,043	1,037	1,028
うち手数料	728	712	703	703	746	736	705
営業費用および減価償却費	-1,085	-1,102	-1,156	-1,171	-1,099	-1,116	-1,168
営業総利益	658	616	533	503	690	657	565
リスク費用	-122	-111	-107	-142	-80	-81	-69
営業利益	536	505	426	361	610	576	496
営業外損益	0	1	2	1	1	0	1
税引前利益	536	506	428	362	611	576	497
資産運用および証券管理事業帰属利益	-33	-27	-28	-28	-34	-34	-28
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	503	479	400	334	577	542	469
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.9	6.0

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
PEL/CELの影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)							
営業収益	1,747	1,724	1,702	1,676	1,791	1,767	1,730
うち受取利息純額	1,019	1,012	999	973	1,045	1,031	1,025
うち手数料	728	712	703	703	746	736	705
営業費用および減価償却費	-1,085	-1,102	-1,156	-1,171	-1,099	-1,116	-1,168
営業総利益	662	622	546	505	692	651	562
リスク費用	-122	-111	-107	-142	-80	-81	-69
営業利益	540	511	439	363	612	570	493
営業外損益	0	1	2	1	1	0	1
税引前利益	540	512	441	364	613	570	494
資産運用および証券管理事業帰属利益	-33	-27	-28	-28	-34	-34	-28
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	507	485	413	336	579	536	466
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.9	6.0

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	2Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)							
営業収益	1,683	1,663	1,634	1,620	1,728	1,711	1,677
営業費用および減価償却費	-1,057	-1,075	-1,130	-1,144	-1,072	-1,088	-1,139
営業総利益	626	588	504	476	656	623	538
リスク費用	-123	-109	-106	-143	-80	-81	-69
営業利益	503	479	398	333	576	542	469
営業外損益	0	0	2	1	1	0	0
税引前利益	503	479	400	334	577	542	469
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.9	6.0

*税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの100%を含む

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む*)							
営業収益	759	755	765	781	782	782	780
営業費用および減価償却費	-433	-443	-438	-484	-444	-452	-444
営業総利益	326	312	327	297	338	330	336
リスク費用	-200	-205	-209	-203	-198	-196	-198
営業利益	126	107	118	94	140	134	138
営業外損益	0	-2	-1	1	0	0	0
税引前利益	126	105	117	95	140	134	138
資産運用および証券管理事業帰属利益	-3	-2	-3	-3	-4	-5	-3
BNL bc の税引前利益	123	103	114	92	136	129	135
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	5.0
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)							
営業収益	751	746	757	772	773	771	771
営業費用および減価償却費	-428	-436	-434	-478	-439	-446	-438
営業総利益	323	310	323	294	334	325	333
リスク費用	-200	-205	-208	-204	-198	-196	-198
営業利益	123	105	115	90	136	129	135
営業外損益	0	-2	-1	2	0	0	0
税引前利益	123	103	114	92	136	129	135
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	5.0
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む*)							
営業収益	867	839	840	842	895	876	886
営業費用および減価償却費	-601	-602	-583	-634	-614	-622	-609
営業総利益	266	237	257	208	281	254	277
リスク費用	-15	-66	-71	-67	-35	-46	-40
営業利益	251	171	186	141	246	208	237
関連会社損益	1	3	2	-6	2	2	2
その他の営業外項目	2	0	3	-1	0	2	4
税引前利益	254	174	191	134	248	212	243
資産運用および証券管理事業帰属利益	-18	-18	-12	-16	-21	-18	-14
BeLux の税引前利益	236	156	179	118	227	194	229
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.1	3.1
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)							
営業収益	834	807	810	810	856	838	852
営業費用および減価償却費	-585	-588	-566	-615	-596	-602	-590
営業総利益	249	219	244	195	260	236	262
リスク費用	-16	-66	-70	-70	-35	-46	-39
営業利益	233	153	174	125	225	190	223
関連会社損益	1	3	2	-6	2	2	2
その他の営業外項目	2	0	3	-1	0	2	4
税引前利益	236	156	179	118	227	194	229
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.1	3.1

*税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの100%を含む

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
欧州・地中海沿岸諸国							
営業収益	410	412	409	451	404	385	388
営業費用および減価償却費	-306	-325	-329	-343	-308	-308	-333
営業総利益	104	87	80	108	96	77	55
リスク費用	-68	-76	-93	-109	-103	-47	-48
営業利益	36	11	-13	-1	-7	30	7
関連会社損益	15	9	17	10	11	12	16
その他の営業外項目	0	0	4	-2	-1	-2	25
税引前利益	51	20	8	7	3	40	48
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	2.3	2.3	2.4	2.5	2.7	2.7	2.7
バンクウエスト							
営業収益	533	601	599	551	555	541	549
営業費用および減価償却費	-288	-322	-320	-320	-314	-302	-299
営業総利益	245	279	279	231	241	239	250
リスク費用	-150	-127	-113	-75	-75	-62	-63
営業利益	95	152	166	156	166	177	187
営業外項目	1	1	2	0	1	0	1
税引前利益	96	153	168	156	167	177	188
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	3.1	3.2	3.3	3.2	3.0	3.0	2.9
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,255	1,245	1,247	1,274	1,297	1,298	1,238
営業費用および減価償却費	-573	-589	-560	-589	-591	-613	-580
営業総利益	682	656	687	685	706	685	658
リスク費用	-522	-486	-467	-438	-431	-406	-390
営業利益	160	170	220	247	275	279	268
関連会社損益	16	21	22	24	21	18	27
その他の営業外項目	7	5	-1	0	1	2	3
税引前利益	183	196	241	271	297	299	298
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
エクイップメント・ソリューション							
営業収益	346	385	369	365	401	402	390
営業費用および減価償却費	-189	-189	-198	-207	-202	-203	-211
営業総利益	157	196	171	158	199	199	179
リスク費用	-65	-70	-60	-60	-14	-31	-37
営業利益	92	126	111	98	185	168	142
関連会社損益	-9	-7	-6	-9	13	-3	5
その他の営業外項目	2	-2	2	-1	-3	4	-1
税引前利益	85	117	107	88	195	169	146
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
資産運用および証券管理							
営業収益	1,431	1,520	1,513	1,632	1,605	1,623	1,551
営業費用および減価償却費	-1,012	-1,071	-1,073	-1,141	-1,113	-1,114	-1,119
営業総利益	419	449	440	491	492	509	432
リスク費用	-1	5	18	-1	5	-19	-53
営業利益	418	454	458	490	497	490	379
関連会社損益	24	19	8	50	35	-8	-111
その他の営業外項目	22	2	30	7	14	67	-2
税引前利益	464	475	496	547	546	549	266
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	6.3	6.4	6.5	6.5	6.9	7.0	7.2
資産管理（富裕層向け資産運用業務）							
営業収益	801	822	825	892	862	832	804
営業費用および減価償却費	-578	-605	-603	-649	-617	-614	-617
営業総利益	223	217	222	243	245	218	187
リスク費用	2	7	21	-6	8	0	-5
営業利益	225	224	243	237	253	218	182
関連会社損益	4	4	3	17	8	5	15
その他の営業外項目	23	7	4	6	17	67	-2
税引前利益	252	235	250	260	278	290	195
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6
保険							
営業収益	352	371	398	432	425	429	421
営業費用および減価償却費	-188	-210	-216	-221	-221	-223	-223
営業総利益	164	161	182	211	204	206	198
リスク費用	-3	-2	-3	5	-3	-19	-48
営業利益	161	159	179	216	201	187	150
関連会社損益	19	15	5	34	27	-13	-125
その他の営業外項目	-1	-5	26	1	-3	0	0
税引前利益	179	169	210	251	225	174	25
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	4.3	4.5	4.5	4.6	5.0	5.1	5.2
証券管理							
営業収益	278	327	290	308	318	362	326
営業費用および減価償却費	-246	-256	-254	-271	-275	-277	-279
営業総利益	32	71	36	37	43	85	47
リスク費用	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	32	71	36	37	43	85	47
営業外項目	1	0	0	-1	0	0	-1
税引前利益	33	71	36	36	43	85	46
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
コーポレートバンキング・投資銀行							
営業収益	3,786	2,724	2,901	2,725	3,462	2,878	1,746
営業費用および減価償却費	-1,872	-1,499	-1,558	-1,571	-1,824	-1,613	-1,120
営業総利益	1,914	1,225	1,343	1,154	1,638	1,265	626
リスク費用	-220	41	-79	-92	-16	23	-10
営業利益	1,694	1,266	1,264	1,062	1,622	1,288	616
関連会社損益	14	18	17	26	10	13	14
その他の営業外項目	6	13	-3	3	3	27	11
税引前利益	1,714	1,297	1,278	1,091	1,635	1,328	641
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	14.9	14.7	14.8	14.5	13.8	13.5	13.3

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット							
営業収益	2,722	1,530	1,731	1,658	2,326	1,786	735
営業費用および減価償却費	-1,461	-1,055	-1,129	-1,125	-1,389	-1,163	-672
営業総利益	1,261	475	602	533	937	623	63
リスク費用	-127	-57	-77	-41	21	9	-42
営業利益	1,134	418	525	492	958	632	21
関連会社損益	11	15	4	2	0	9	7
その他の営業外項目	7	12	-8	2	0	8	5
税引前利益	1,152	445	521	496	958	649	33
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	6.2	6.1	6.1	5.9	5.4	5.3	5.3

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
ファイナンス業務							
営業収益	1,064	1,194	1,170	1,067	1,136	1,092	1,011
営業費用および減価償却費	-411	-444	-429	-446	-435	-450	-448
営業総利益	653	750	741	621	701	642	563
リスク費用	-93	98	-2	-51	-37	14	32
営業利益	560	848	739	570	664	656	595
営業外項目	2	4	18	25	13	23	13
税引前利益	562	852	757	595	677	679	608
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	8.7	8.7	8.7	8.6	8.4	8.2	8.0

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11
コーポレート・センター（BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む）							
営業収益	501	1,071	617	120	604	534	870
営業費用および減価償却費	-286	-320	-452	-479	-269	-313	-279
うち事業再構築費用	-143	-180	-176	-281	-124	-148	-118
営業総利益	215	751	165	-359	335	221	591
リスク費用	28	12	-44	30	28	-485	-2,103
営業利益	243	763	121	-329	363	-264	-1,512
関連会社損益	7	-37	24	-8	2	8	26
その他の営業外項目	135	-46	15	-14	-39	97	14
税引前利益	385	680	160	-351	326	-159	-1,472



(ギリシャ向け全エクスポージャーの) 60%までギリシャ国債の減損を増加させても、株主帰属純利益を計上..... 2

リテール・バンキング事業..... 3

資産運用および証券管理事業..... 7

コーポレートバンキング・投資銀行事業 7

コーポレート・センター..... 8

デレバレッジング 9

ソルベンシー 10

連結損益計算書 12

2011年度第3四半期のコア事業の業績 13

2011年度9ヵ月間累計のコア事業の業績 14

四半期決算 15

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれていません。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNPパリバは、新しい情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。本プレゼンテーションに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNPパリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。